都留市地名考 その九

窪田　薫

田野倉

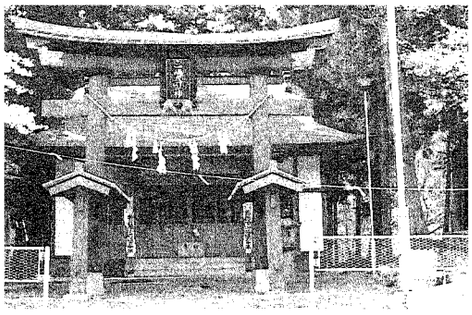
田野倉の地名の解説は難解に属する。田野倉の「倉」は、倉庫・土蔵を意味することが多い。

山梨県八代町に「米倉」の地名があり、古代大和朝廷の直轄領から収穫された穀物を保管する倉（屯倉）があったからだろうとしている。

田野倉の場合も、古代穀倉があったことに起因するのであろうか。

穀倉にかかわる田野倉の小字名として、「先ノ宮」と「政所」が考えられる。

都留郡の三島神社（祭神大山祇神）は、田野倉（先ノ宮）、駒橋（中ノ宮）、殿上（下ノ宮）に祀られ、田野倉の三島神社は、三社の本宮（奥ノ院）にあたり、田野倉村の氏神である。



田野倉の三島神社（先ノ宮）

古代この三島三社を祀る田野倉、大月駒橋、猿橋殿上を中心とする地域は、富士信仰が盛大であったことが知られる。

三島三社の創建は、大同元年（八〇六）ともいわれ、藤原氏により、伊予国（愛媛県）大三島の大山祇神社の祭神を勧請したものである。

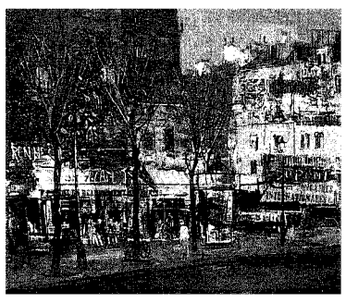
田野倉の農耕地は、当時三島三社を維持するための社領（荘園）にあてられていたのではないかと思われる。

「政所」の小字名は、荘園を管理する役人の執務する建物のあった所であろう。また社領地を耕作する農民が、貢納する穀物を保管する場合、穀倉が当然必要であり、その穀倉が後に転じて、「田野倉」の地名になったのではなかろうか。

先ノ宮の南に続いて「神出」の小字名がある。大月市駒橋の三島神社の辺を「御太刀」という。御太刀の小字に「御立原」がある。御は神に通じ、「御太刀」「御立」は、「神立」で「神出」と同意と考えられる。

神出（立）は神社の祭礼に神輿を渡御するにあたり、祭礼の間仮屋を建てて安置する場所から起った地名である。

増田誠特別展開催



九月一日、富士女性センターにおいて、釧路市との友好都市提携の調印式が行われ、今後あらゆる分野での幅広い交流をしていくことになりました。

釧路市では、来年一月に記念事業として「増田誠特別展」を開催し、それに伴い、都留市所蔵作品を貸し出す予定です。当市でも来年六月に釧路市より借用し、特別展を開催する予定です。

今回の特別展は、釧路市へ貸し出しする予定の「版画」を中心とした内容です。前回の「旧約聖書」や「ギリシア神話」とは違った、画伯独特の世界をお楽しみ頂けるものと思います。

期間　10月18日(日)～11月15日(日)
時間　午前9時30分～午後4時30分
休館日　月曜日と祝祭日の翌日
会場　ふるさと会館二階　増田誠美術館

尾県郷土資料館特別展『宮崎　学　写真展』開催

今年の特別展は＝身近な自然に、野生がいっぱい＝をテーマに、長野県伊那市に住む動物写真家の宮崎学さんの作品を皆さんにご覧いただきます。

宮崎学さんは日本に生息するすべての種類の鷲や鷹を撮影して、本を刊行し、『鷲と鷹』で、日本写真家協会新人賞を受賞、また、『フクロウ』では、写真界でもっとも権威ある、土門拳大賞を受賞するなど、地方の自然をじっくり見つめることにより、日本全体の自然のありかたを模索する、数少ない野生動物写真家として活躍しています。

このたび、宮崎学さんが、当市内の自然保護団体や活動に共感し、これらの作品の中から代表作品を貸し出してくださり、市民の皆さんに作品をご覧いただくことになりました。

どうぞ、宮崎学さんの作品を鑑賞され、自然界の大切さとすばらしさを実感していただきたいと思います。

皆さんのおいでをおまちしています。

会期　10月17日(土)～23日(金)

一週間連続して開催します。

全日とも午前十時から午後四時までです。

ふるさとの祭

十月

10日　市民運動会　市内各地
　　金毘羅神社秋の例祭　東正院(下天神町)
12日　お会式　東漸寺
28日　不動尊例祭　龍石寺
11月1～3日　市文化祭　文化会館他

―特別行事のお知らせ―

十七日(土)午後二時から午後四時まで、宮崎学さんと都留文科大学今泉吉晴教授による『身近な自然に、野生がいっぱい』をテーマに動物雑誌アニマ前編集長澤近十九一さんを司会にユニークな対談を計画しています。

また、十八日(日)の午後一時三十分から午後三時三十分まで、『自然からのメッセージ』をテーマに宮崎学さんの講演会も実施します。

なお、この特別展と同時に、十月四日(日)に実施の、尾県郷土資料館写生大会の参加作品を展示いたします。あわせて数々の力作をご覧ください。